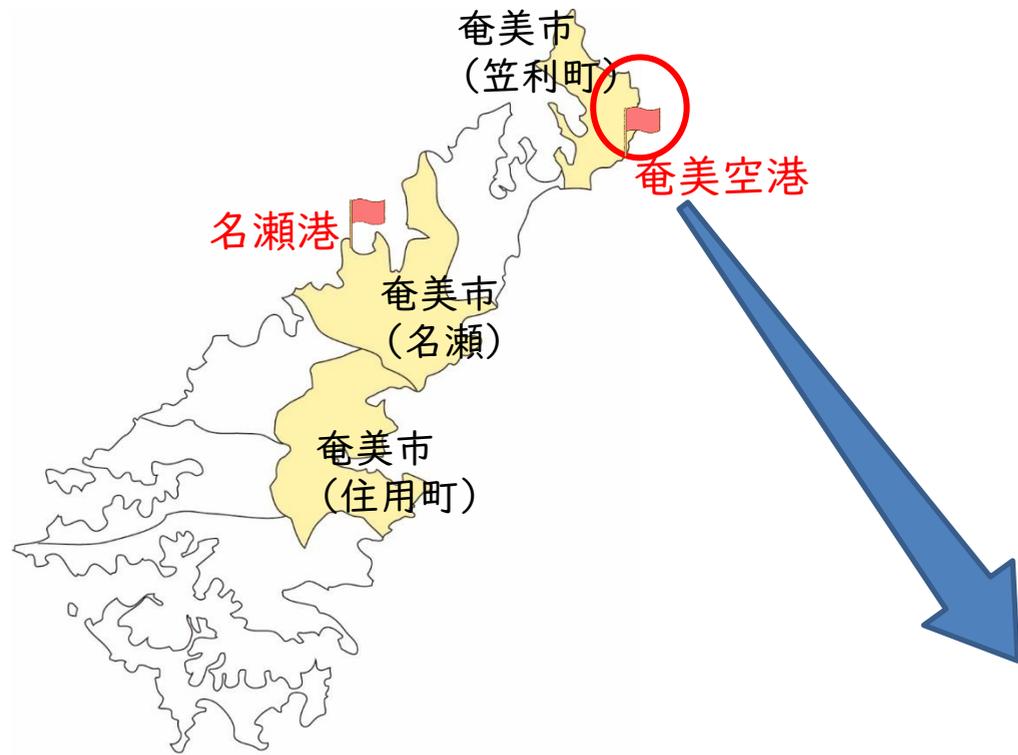




宇宿貝塚史跡公園リニューアルによるSDGs加速化事業
サウンディング資料

令和6年11月
奄美市プロジェクト推進課

奄美市の概要・宇宿貝塚の位置図



人口:39,786人 面積:308.33K㎡
 地理条件:鹿児島県本土から南西380kmに位置する

(地域課題)
 人口は、今後大きく減少していくと予想され2015年と比較して2045年には41.3%減少

(地域資源)
 多様な自然環境を有し、世界的に独特で重要な絶滅危惧種や固有種の生息・生育地となっていることが世界的に認められ、令和3年7月26日に世界自然遺産へ登録された。



宇宿高又遺跡
 宇宿小学校遺跡
 万屋グスク遺跡

宇宿漁港



宇宿貝塚史跡公園

奄美空港

奄美市歴史民俗資料館

土盛海岸
 青い海と白い砂浜が特徴の奄美を代表する観光スポット



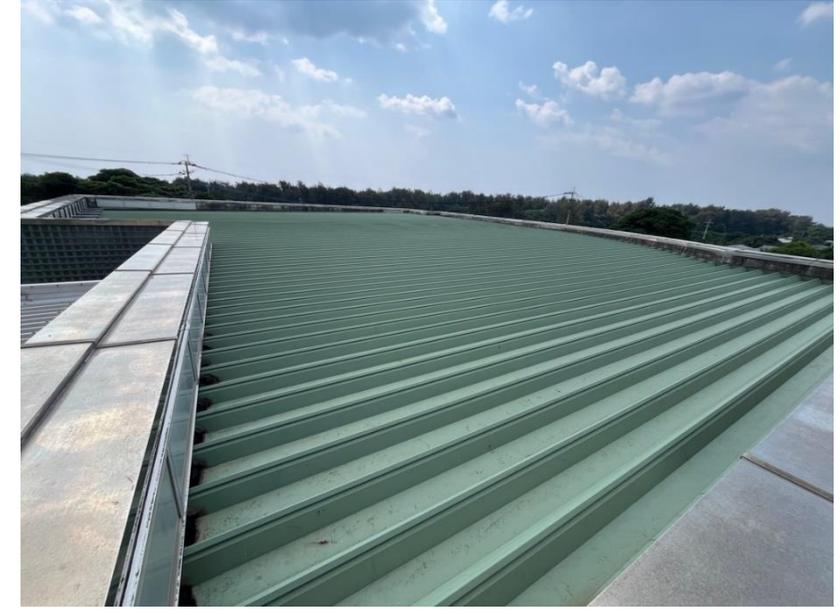
土盛マツノト遺跡
 喜子川遺跡

大瀬海岸
 奄美を代表する野鳥スポットとしても知られ、冬の風物詩でもあるリュウキュウアサギマダラの越冬がみられる



宇宿農村公園

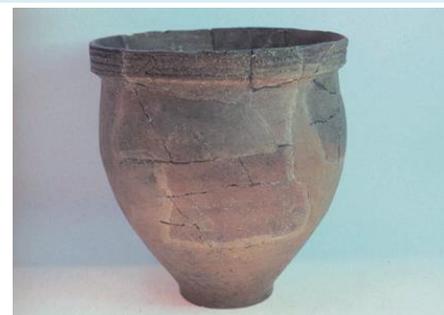
宇宿貝塚遺跡公園の概要



宇宿貝塚は、鹿児島県奄美市笠利町宇宿にある縄文時代から中世にかけての複合遺跡である。縄文時代の石組の竪穴建物跡や貯蔵穴、中世の土坑墓などの遺構や土器、石器や骨角器、貝製品などの遺物が発見され、昭和61年（1986）10月7日に国史跡に指定された。



宇宿貝塚史跡公園は、国史跡「宇宿貝塚」の真上に整備された施設である。この公園は、発掘調査で発見された遺構・遺物や調査の跡を埋め戻さずに露出展示している。



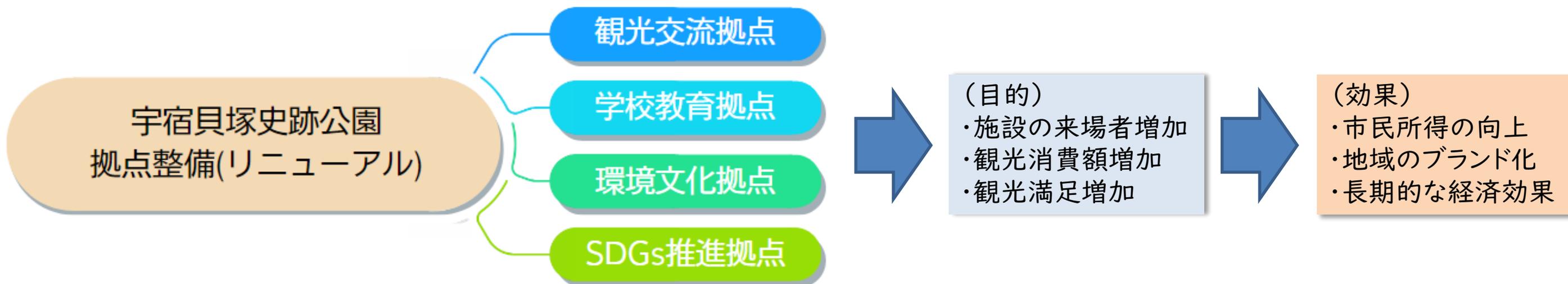
(地域の課題)

- 1.観光資源の掘り起こし、観光コンテンツの充実、所得の向上、観光客の満足度向上、遺産地域への環境負荷
- 2.歴史・文化・自然の学習機会の提供や情報発信不足及び地域の魅力・歴史的価値の認識不足



SDGsの理念を導入し 課題解決を図りたい

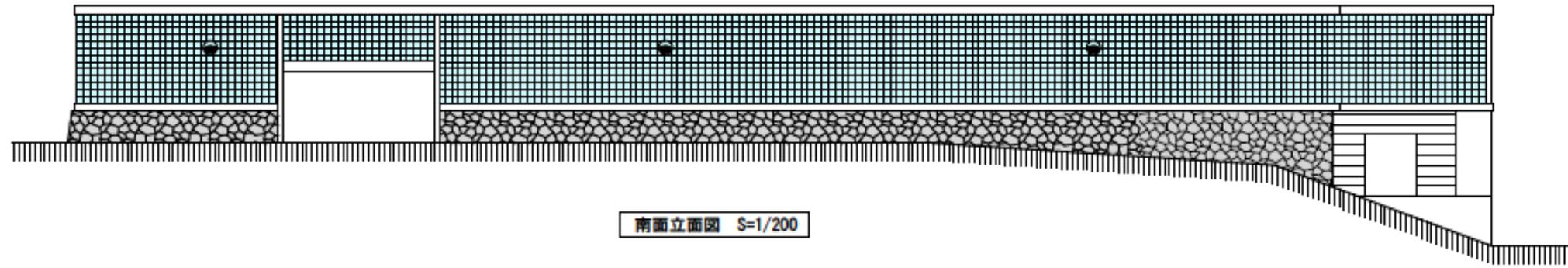
サステイナブルな縄文時代の生活様式を今に伝える「宇宿貝塚史跡公園」において、自然・動植物とそこに暮らす人々が共存共生し、環境に負荷をかけない『縄文生活』世界に誇る自然環境・生物多様性と歴史が共に歩み、新しい価値を創造する『環境文化』の思想哲学のもと、地域全体の受入れ体制を強化（人材育成、地域力強化）するとともに観光の拠点となる施設を整備する。



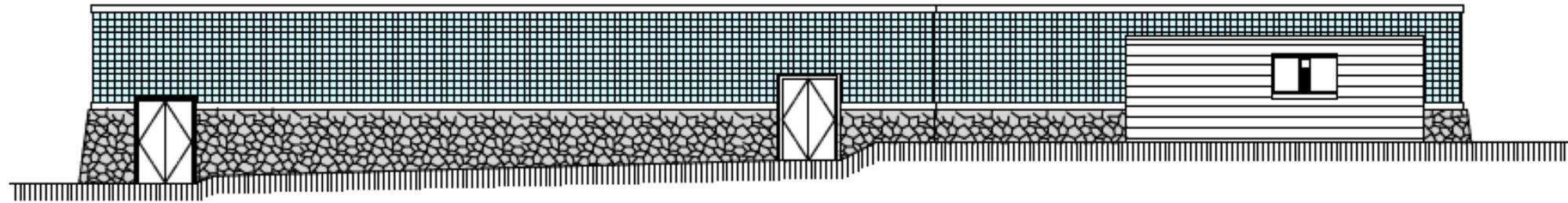
(予定している整備概要)

- (1) 宇宿貝塚史跡公園覆屋施設 屋根・外壁の全面改修工事（施設機能向上）
- (2) 施設内外スロープの手すり設置（ユニバーサル対応）
- (3) 駐車場入口及び施設入口のサイン計画・設置（来場者への配慮）
- (4) 施設内遺構周辺の手すり設置（安全性対策）

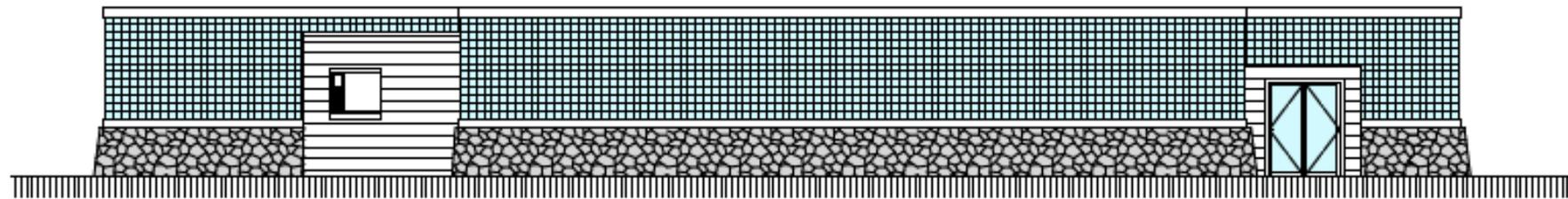
宇宿貝塚史跡公園立面図



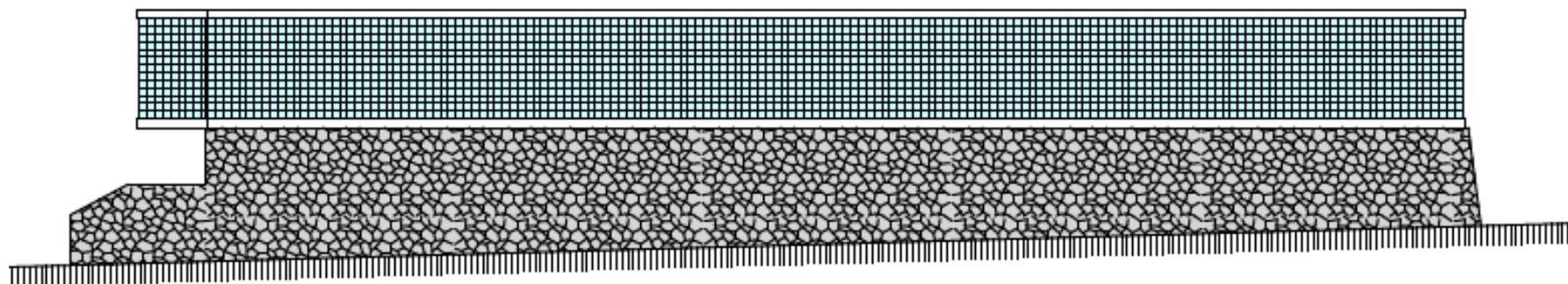
南面立面図 S=1/200



北面立面図 S=1/200



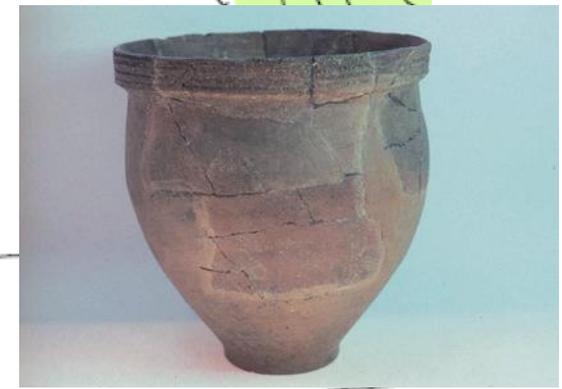
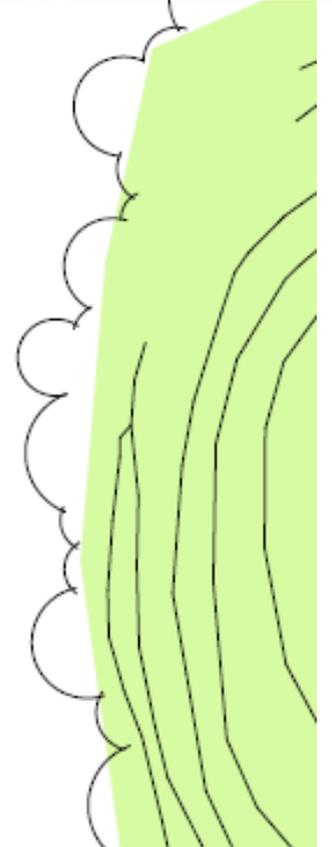
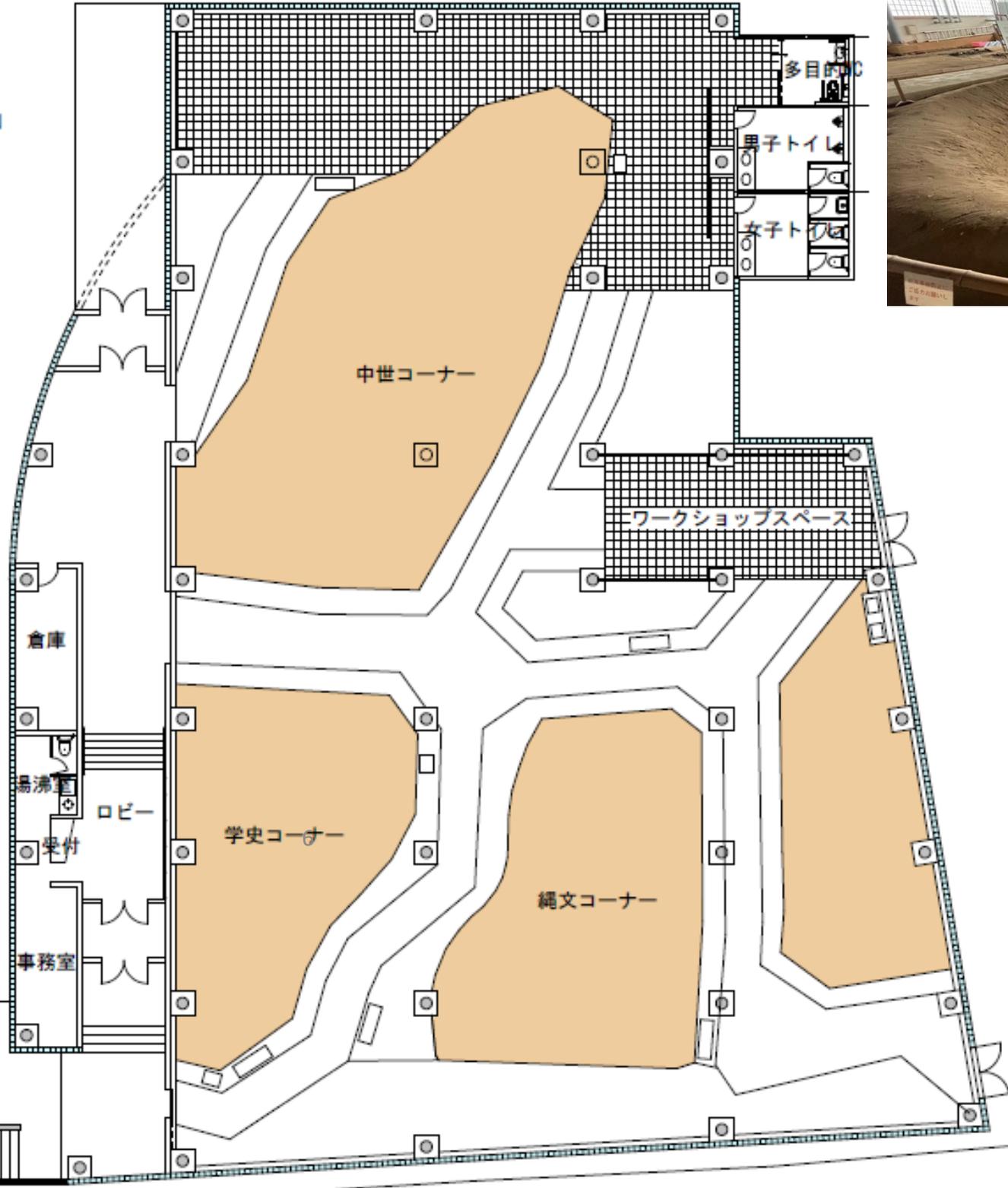
西面立面図 S=1/200



東面立面図 S=1/200

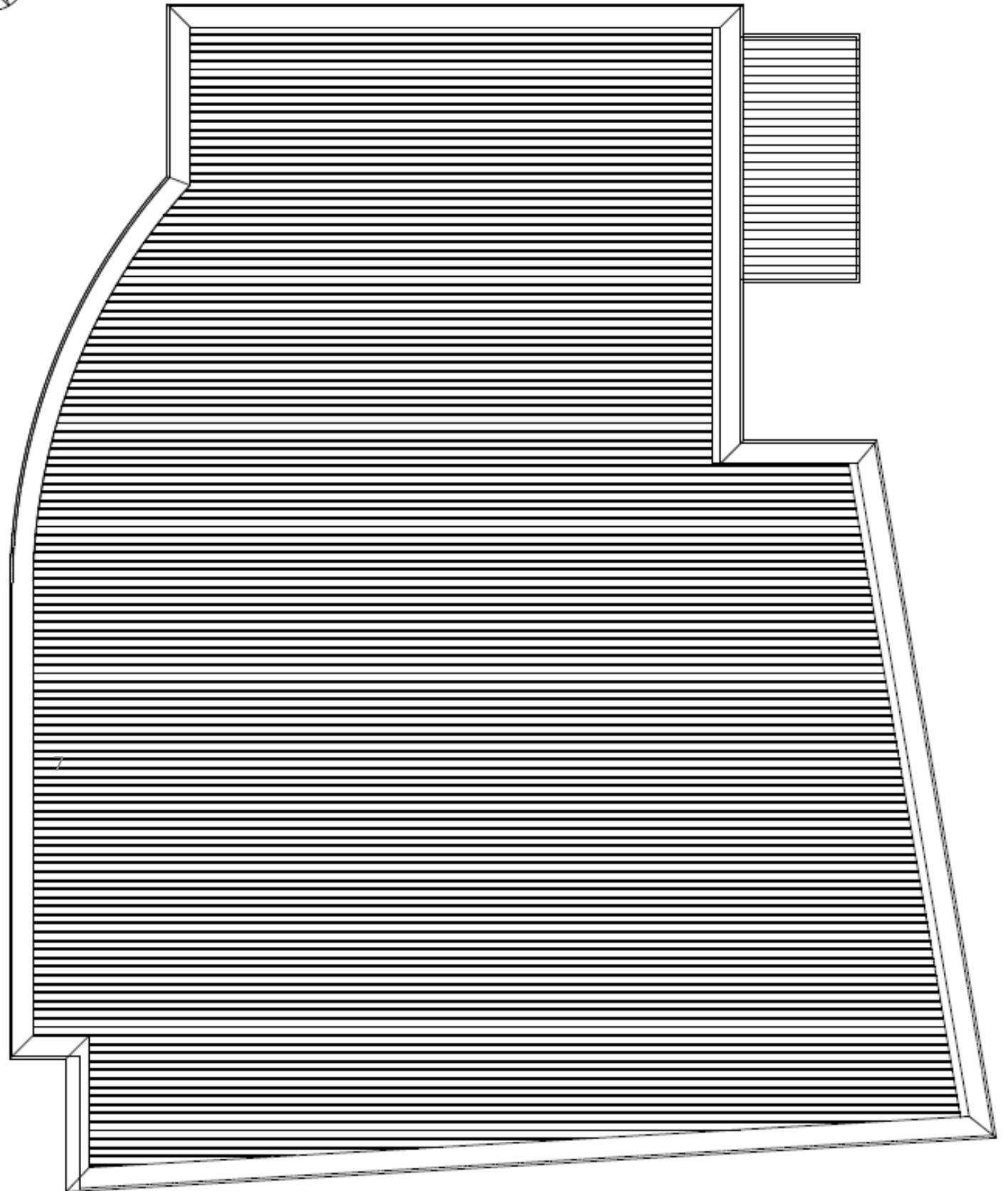
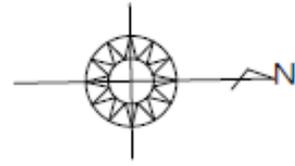
(既存) 外部仕上げ表	
構造	鉄骨造
屋根	折半二重葺きH=148
	断熱材：グラスウール充填φ) 50mm
パラペット	立ち上がり壁：コーラル貼り
外壁	腰壁：コーラル貼り
	ガラスブロック190角 t=125mm
	ベルダN153φ) 15mm素地仕上げ

宇宿貝塚史跡公園平面図



構造	敷地面積	建築面積	延床面積
鉄骨造平屋建て	3,785 m ²	1,145 m ²	1,124 m ²

宇宿貝塚史跡公園屋根伏図



スケジュール(案)

公開型サウンディング(官民対話)	令和6年11月25日(月)PM
事業実現性精査	
民間提案制度により公表(事前相談開始)	令和6年12月上旬
事前相談締め切り	令和7年1月31日(金)
民間提案制度による公募開始	令和7年2月3日(月)
企画提案資料の受付期間	令和7年2月3日(月)～令和7年3月28日(金)
公募締め切り	令和7年3月28日(金)
プレゼンテーション及び審査会	令和7年4月上旬
優先交渉権者決定・協定締結	令和7年4月上旬
事業費の予算承認・補助金の採択	令和7年4月
工事内容の詳細協議	令和7年4月～令和7年5月
契約の締結	令和7年6月上旬
施設改修の設計・施工	令和7年6月上旬～令和8年3月20日(金)

公募に参加するには、事前相談が必須となる。
事業の実施、契約締結には補助金の採択、予算の成立を前提条件とする。
整備内容を官民連携して構築することを目指す。

事業者の皆様へお伺いしたいこと

- ①施設の特色や立地を考慮し、以下のポイントを踏まえた提案可能性について
 - (1) SDGの推進に向けた提案
 - (2) 省エネルギー化への配慮
 - (3) ライフサイクルコスト低減に向けた提案
 - (4) 再生可能エネルギー導入の提案
 - (5) ユニバーサルデザインへの対応

- ②本事業は、民間提案制度により受託者の選定を予定している。そこで、以下に理解いただけるか。
 - (1) 仕様書がなく、事業者の自由な提案を求め、その提案内容で審査する。
 - (2) 優先交渉権者決定後、契約締結には補助金の採択、予算の成立を条件とする。
 - (3) 優先交渉権者決定後、契約までの間に提案内容を基に詳細協議を行い、官民連携により事業内容を構築する。

- ③本事業が令和8年3月までに完了する見込みについて

- ④本事業への参入可能性について